

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証プライム市場)  
 問合せ先 経営管理部長 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2022年3月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2022年3月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355	495	413	452	591
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348	71,190	66,894	71,453	97,402
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138	341,086	341,521	341,690	342,122
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812	61,175	60,590	59,575	59,081
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849	59,365	58,733	57,731	57,346
金融法人 (BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963	1,809	1,856	1,843	1,734
マネパカード口座数 (単位: 口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996	162,802	162,492	162,309	161,921

年 月	2022年3月期											
	2021年									2022年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	445	403	430	395	387	470	430	429	589	394	396	550
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,253	82,478	73,411	92,739	76,532	78,411	90,593	95,217	66,099	73,976	82,802	134,241
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	342,801	343,397	343,817	344,134	344,314	344,522	344,755	345,482	346,625	347,287	347,437	347,991
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	58,635	56,276	56,581	56,671	56,468	56,284	55,503	54,426	53,911	54,402	53,808	55,068
一般顧客	57,068	54,786	54,965	55,027	55,065	54,825	54,090	52,988	52,409	52,848	52,151	53,306
金融法人 (BtoB)	1,567	1,489	1,616	1,644	1,403	1,459	1,412	1,438	1,501	1,554	1,657	1,761
マネパカード口座数 (単位: 口座)	161,712	161,526	161,301	161,091	160,964	160,800	160,701	160,574	160,390	159,994	159,566	159,097

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2020年7月から2021年3月までの「営業収益」には連結子会社のコインエージ株式会社の数値が含まれております。なお、同社は2021年3月31日をもって暗号資産交換業を廃業し解散しております。  
 6. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

### < 3月次の概況 >

3月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=115円台前半で取引が始まり、ロシアのウクライナ侵攻や各国のロシアへの経済制裁により混沌とする世界情勢の中、米国がゼロ金利政策を2年ぶりに解除し0.25%の利上げ、更に日銀黒田総裁の金融緩和継続の強調も相俟って円安が進行し、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け乱高下相場となった2020年3月以来、月間値幅が10円（高値25日125円台前半、安値4日114円台半ば）超えのボラタイルな展開となり、121円台後半で月末を迎えました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨については、円が売られ、米ドル/円と同様に円安が進行しました。

外国為替相場の変動率は、1日の平均値幅が、米ドル/円については1.049円（前月は0.666円、2020年3月の2.072円以来の高い水準）、欧州・オセアニア通貨についても1.1円程度～1.8円程度となるなど、2020年3月以来の非常に高い水準となりました。

このような状況の中、パートナーズFX nanoにおいては、「米ドル/円」にて1回あたり取引数量3万ドルまで原則24時間スプレッド0.0銭（売買同値）、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「ユーロ/円」、「トルコリラ/円」の4通貨でも当社所定の注文数量まで原則24時間業界最狭水準スプレッド、さらに「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」では16時00分～24時00分の時間帯において1回あたりの取引数量20万通貨まで業界最狭水準スプレッドを恒常的に提示しております。3月21日からは「米ドル/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」の3通貨ペアにおいて、ゴールデンマネパタイム（17時00分～26時00分、以下同じ。）においてスプレッドを縮小するキャンペーンを実施しました。続く28日には「ユーロ/円」の通貨ペアにおいても、1回あたり取引数量20万通貨まで18時00分～21時00分は0.0銭（売買同値）とし、同じく28日に「ユーロ/米ドル」も、1回あたり取引数量3万通貨まで原則24時間0.1pipsの業界最狭スプレッドを提示するキャンペーンを実施しております。

また、「約定力100%」のパートナーズFXでの主要取扱通貨ペアのうち「米ドル/円」をはじめとした「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」、「南アランド/円」、「NZドル/円」、「カナダドル/円」、「豪ドル/米ドル」、「ポンド/豪ドル」、「ユーロ/豪ドル」の全7通貨ペアにて18時00分～24時00分の時間帯に限り業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを続行し、3月10日からはゴールデンマネパタイムにおいて「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」の4通貨ペア、14日からは「ユーロ/米ドル」、「ポンド/米ドル」、「NZドル/円」、「南アランド/円」、「メキシコペソ/円」、「カナダドル/円」、「ポンド/豪ドル」、「ユーロ/豪ドル」、「豪ドル/米ドル」の9通貨ペアを加えた全13通貨ペアで業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施しております。

これに加えて、パートナーズFXでは26時00分～17時00分における「米ドル/円」でのお取引に対して100万ドルあたり300円、それ以外の時間帯は50円とする業界高水準かつ上限なしのキャッシュバックキャンペーンを、「トルコリラ/円」では全時間帯で1万通貨あたり10円の業界最高水準かつ上限なしキャッシュバックキャンペーンを続行しております。このキャンペーンを拡充し、4月1日からは期間中（2022年4月1日から同月29日）の取引日数に応じて最大25%キャッシュバックを増額いたします。さらに当社所定の期間（3月1日7:10～4月1日5:55）に通貨ペアを問わず1度でも当社でFX取引をされたお客様は、キャンペーン期間中に1日でもお取引いただくと3%のキャッシュバック増額からスタートしていただけます。

外国為替取引高は、非常に高い変動率の影響とこれらの施策が奏功したことにより、米ドル/円や欧州・オセアニア通貨を中心に全体的に増加し、月次の数値としては2020年3月の1,636億通貨単位以来の水準となる前月比62%増加の1,342億通貨単位となりました。営業収益は、取引高増加を受けてトレーディング損益が大幅に増加したことに加え、システム関連売上高が大きく増加し、全体として増加しました。これによって、3月次の営業収益の数値は前月比39%増加の550百万円となり、3カ月ぶりに5億円を超える水準となりました。また、外国為替取引預り証拠金は、一般顧客分、金融法人分のそれぞれが増加したことから、全体では前月比1,259百万円増加の55,068百万円となりました。

以上